

■各研究開発項目の目標・スケジュール

本事業では、以下の技術開発・検討を一体的に行い、日本版コネクト&マネージ2.0としてシステム全体での最適化を目指します。

研究開発項目1 DER等を活用したフレキシビリティ技術開発

実証試験等を通じて、平常時の混雑緩和や出力制御量の低減ないし事故時の安定度確保等に資する新たな分散型エネルギーリソース（DER）等の活用手法の基盤技術及びシステムの標準仕様を確立する。（2028年度）

研究開発項目2 市場主導型制御システムの技術検討

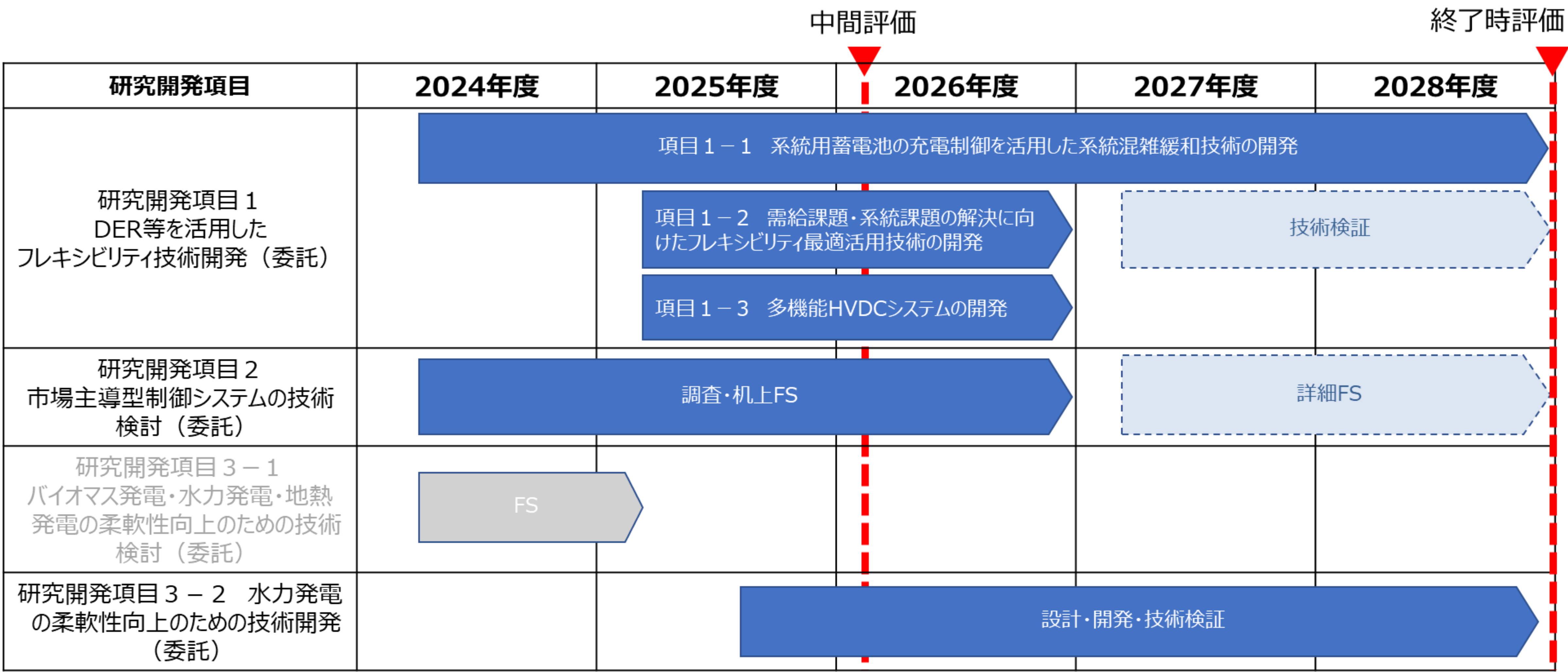
混雑管理等の制度設計の議論状況を確認しながら、市場主導型制御システムの要素技術の検討等を完了する。（2028年度）

研究開発項目3－1 バイオマス発電・水力発電・地熱発電の柔軟性向上のための技術検討

電力システムの信頼度を下げずに経済的に再エネの最大活用を図るための柔軟性を評価・分析するとともに、バイオマス発電・水力発電・地熱発電の柔軟性向上の限界とその要因をFSにて明らかにする。（2025年度終了時に目標達成し、項目3-2に引き継ぎ）

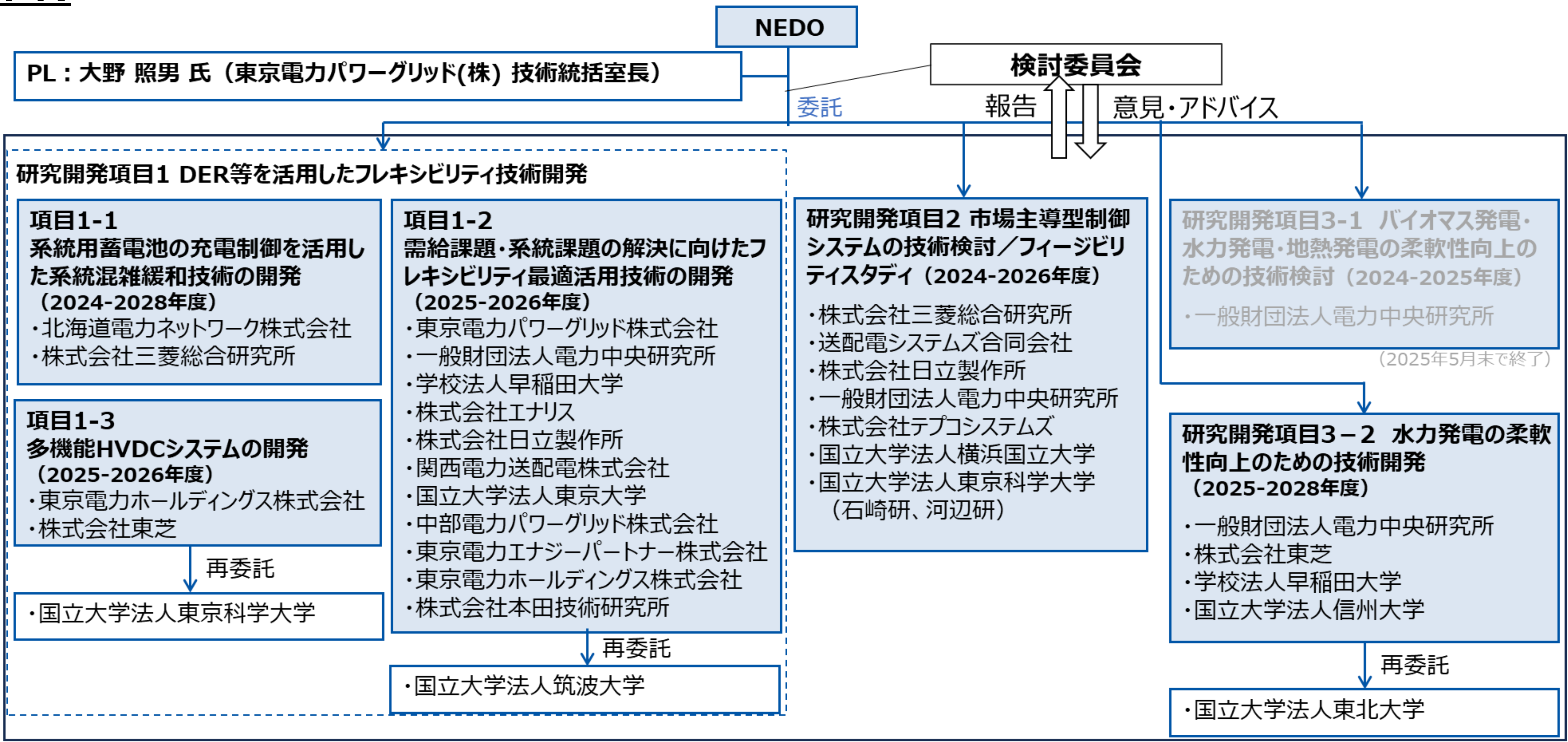
研究開発項目3－2 水力発電の柔軟性向上のための技術開発

一般水力を対象に、中小型水車に関しては河川や農業用水等への多数の水車導入による運用台数の制御によって、大型水車に関しては単機容量の運用幅の拡大によって発電量の柔軟性を向上させる。（2028年度）



※2026年7月時点

■実施体制



※2026年7月時点

■実用化・事業化の見通し（今後の予定）

各研究開発項目にて、一般送配電事業者やメーカ、業界団体などのステークホルダ等との議論内容や、いただいたコメントを検討内容に反映し、事業終了後の社会実装・研究成果の広範な普及を図ります。